

### 震災から考える京都～いのち・生活・未来～開催

京都未来まちづくり100人委員会主催フォーラム「震災から考える京都～いのち・生活・未来～」を7月23(土)に開催しました。フォーラムは環境・景観部会と、福祉・コミュニティ部会により企画・運営されました。両部会長により、当日のリポートをいただきました。



パネリストによる討論

私たち環境・景観部会は、7月23日(土)の『震災から考える京都～いのち・生活・未来～』フォーラムにおいて、『震災で感じたこと。変えよう、私達の暮らし』をテーマにシンポジウムを行いました。

小島彩乃さん、辻大地さん、下村委津子さんの3名のパネリストより、それぞれ町家生活の魅力、小水力発電、エコな社会とライフスタイルのために私たちができること、について語っていただきました。一見バラバラな3テーマですが、化石エネルギーと原子力発電に依存した社会からの転換という共通の問題意識のうえにあります。私たちは伝統的な京町家生活の知恵も、自然エネルギーである水力発電のことも、社会のベクトルを変えるために市民にできることについても知りたかったので、こういうテーマとなりました。

「町家は寒い、暗い、汚いと言われるが、言い換えれば夏涼しく、落ち着きがあって、歳月を経た趣を感じられる」と話す小島さんからは、代々受け継がれてきた暮らし方の魅力と合理性を感じました。町家ではない我が家ですが、町家暮らしから学ぶところは大きいにありました。

辻さんからは水力発電にも2000万kW級の原発数十基分の巨大なものから、数十W級の電球一つ級のものまで、いろいろあることを教わりました。深流のある山間地域では地産地消エネルギーとしての可能性を感じました。また、地域の人々や子供たちと一緒に小水力発電を「工作」してみたくまりました。



パネリストの方々

下村さんにご紹介いただいた「グリーンコンシューマー」という、商品購入時の基準として価格、品質、安全に「環境」を加えて選択するという取り組みは、無理なく市民レベルから社会のベクトルを変えていく有効な手段だと思いました。少し買物が楽しくなりそうです。

このシンポジウムには実は続編があります。10月の新風館イベントで行われる『キョート・ザ・サステナブルシティ』がそれで、今度は私たち委員から提言します。ぜひご来場ください。(寄稿：環境・景観部会、藤崎壮滋さん)

午後の始まりは、号外報道から見る震災のお話を絹川さんがゲストの小林さんから伺いながら、東日本大震災や過去の災害なども振り返りました。

京都で起こった鴨川の洪水の号外なども展示され、災害が京都で起こる可能性も参加者が考える機会となりました。

### 京町家の勉強会が開催されました

7月31日に、河原町今出川近辺の昭和初期の町家にて、環境・景観部会主催の「京町家の勉強会」が開催されました。

当日は委員の内藤さん、富家さん(裏面の「委員の横顔」是非！)が講師を務められました。富家さんは京町家の歴史の変遷と現代の取り組みについて講義。京都では天明の大火(1788年)によって市街地の大部分が焼失したため、江戸初期の建物はほとんどないこと、その後の都市の発展経過やデザインの特徴を見ることで、ある程度建物の建築年代がわかること、現在1000棟/年のペースで町家が減少していること、などが印象に残りました。内藤さんは「町家の暮らし」という観点から講義。生活文化の継承、環境にやさしい、景観的に優れる、といった京町家の利点、生活の知恵についてご教授いただきました。最後に家主の方が、ご自身が町家を残そうと考えるようになった経緯をお話しされ、町家が残りにくい現状、およびその中で残していく意義をあらためて考える契機になりました。(早崎)

京町家を狭く専門的に定義するのではなく、家の形に捕らわれず、昭和20年代以前の古い民家の保存に取組まれている姿勢に感銘しました。そのような視点で見ると、京都市内には、マンションにできないような、小さな町家の方が良く残っているそうです。(宇野)

### 京の七夕リポート

8月6日～15日まで開催された、京の七夕に行ってきました。

「京の七夕」は2回目新しいイベントですが、会場にはたくさんの方が来られていました。消灯が21時30分で、仕事帰りに寄った私は大急ぎで見ました。お目当ての友禅は照明による絵柄と重なって見えるように流れていて、面白かったです。一番人気？の天の川をくぐって、型紙友禅へ。こちらはほんやり灯っていて、細かなデザインが闇に映えていました。

最終地点では冷たいビール！30分ほど歩いて汗をかいたので、最高でした(笑)。来年以降も続けて行って欲しいと思いました。(早崎)

8月7日の夜に初めて「京の七夕」の堀川会場に行ってきました。一言、素晴らしいイベントでした。畔には芸術系大学生のオブジェや笹飾り、LED燈籠なんか展示してあって、堀川には鐘楼流しのように青玉が流れています。



皆さん熱心に聴いています。



伝統工芸チームの力作

同時に開催されたゆるキャラフェスタにおいて京都市からはエコちゃん、こごみちゃん、京ちゃん、都くんが参加し、スペシャルゲストとして京エコロジーセンターからちきゅまるさんが参加してくれました。人気のキャラクターということもあり、フォーラム参加者との撮影会は大盛況でした。また、国民文化祭・京都2011のキャラクターまゆまる隊長からは橋本さんを通じてメッセージとグッズが届けられ大好評でした。

その後、ワークショップ「京都大震災?!～みんなのキズナ～」が開催されました。ゲストとして京都市消防局の高田さん、京都市福祉ボランティアセンターの寺田さん、そして福祉・コミュニティ部会からは京都府職員でもある橋本さんが参加してくださり、東日本大震災被災地での救助および援助活動の報告をいただいたうえで、ワールド・カフェを実施しました。

ワールド・カフェにおいては、震災発生時にどのように一人一人が対応していくべきか、そして、防災に備えたコミュニティの在り方などに関して白熱した議論が展開されました。これら一連の議論を通し、改めて防災のまちづくりの重要性を参加者が考える機会となりました。

防災のまちづくりは100人委員会においても1期から重要性が指摘されてきたテーマであり、今後とも防災のまちづくりをより発展させるための議論や行動を行なっていきたいと考えています。また、ワークショップのまどめは10月に実施される京都未来まちづくり2011(仮)においても報告させていただく予定です。(寄稿：福祉・コミュニティ部会 部会長 小辻寿規さん)

### フォーラム概要

1 日 時・会場  
平成23年7月23日(土)11時～17時40分  
京都御池創生館 地下1階研修室

### 2 出演者

環境・景観部会シンポジウム パネリスト  
小島 彩乃 氏(小島家、立命館大学大学院)  
辻 大地 氏(堀川手作り水車の会)  
下村 委津子 氏(NPO法人環境市民理事)

### 福祉・コミュニティ部会ワークショップ ゲスト

小林 宗之 氏(立命館大学大学院)  
高田 善之 氏(京都市消防局)  
寺田 玲 氏(京都市福祉ボランティアセンター)  
橋本 皓平 氏(京都府職員・100人委員会)

### 3 同時開催企画

新聞号外展  
ゆるキャラフェスタ  
非常食体験(缶パン、そば、うどんなど) ※協力 まちの縁側ハルハウス



ワークショップの様子



新聞号外展



ゆるキャラのみなさん

### オカシルリレー講座開催

7月31日「オカシルリレー講座」最終回、「明治から昭和へ～モダン建築探訪in岡崎」講師 矢ヶ崎善太郎氏(京都工芸繊維大学 准教授)が京都国際交流会館にて行われました。



満席です。

晴天に恵まれた当日はリピートして頂いた方も多く定員50名満席の中、最終回ということもあり丹羽さんの企画の総括から始まり14:15頃から講座が始まりました。岡崎を語る中で外せないポイントである疏水はやはり建築にも深く絡み、当初は水車の権利を買っていた人たちが発電をする運びになったところから別荘へと移っていた経緯や大正・昭和天皇の御大典の際に時の要人・皇族の宿泊先として別荘郡が使われていった背景などが当初何も無かった岡崎の地域に重要な文化財が建っていた歴史と絡まり非常に興味深いお話でした。

また建築物の多くは現存しており中に入れない物もありますが、京都市美術館のように観覧できる物も多々ある為、講座内容はより近く感じられるものでした。

建築物も時代とともに変わり近代的日本庭園群を手掛けた七代目小川治兵衛の無燐庵にはじまり昭和初期に日本で流行をした、洋式の建造物と和風の瓦屋根を載せる和洋折衷の帝冠洋式を用いた京都市美術館、そしてモダニズム建築の旗手、前川國男が手掛けた京都府会館と様々な時代の名建築が混在していることを改めて感じる事が出来ました。

またお話の中では隠れた名建築として京都市美術館、東側の収蔵庫を紹介されていました。ここは、以前岡崎ホールディングスでmuzooカフェをさせて頂いた場所でもありましたのでとても印象深いお話でした。

今回で最終回はなりりましたがまた次回をとのお声も多く頂きましたので、何かの機会で開催できればと思います。(栗山)

# 委員の横顔

今回は「環境・景観部会」でご活躍のお二人にご登場願いました。先日京都家勉強会に参加したときに共に講師をしていただいた内藤郁子さん、冨家裕久さんです。方や一期から、方や三期からとアプローチもスタンスも異なるお二人に参加の経緯や今後の活動についてうかがいました。(終木、早崎)

お二人の100人委員会に参加したきっかけについて教えてください。  
 (内): 私は一期から参加しているのですが、一期ということもあって最初は何をやるのかよくわかっていなかったんですね(笑) そんな中で、もともと参加していたNPO(うつくしい京都)や三条のラジオの関係からお話をいただき、まずは試しに参加したのが最初です。  
 (冨): 私は絹川さんのなさっているラジオに出たときに誘っていただきました。元々京都家なんでも応援団、という活動をしていて、その活動と100人委員会の活動をつなげられたらおもしろいんじゃないかと思って参加しました。

お二人の部会・プロジェクト活動について教えてください。  
 (内): 私は「景観まちめぐりマップ、景観エリアマネジメント講座」プロジェクトに参加しています。もともと景観以外のことはやるつもりがなかったのですが、一貫してこれをやっています。この活動も一期からこまごまいろいろと変遷がありました。

ちょうど一期が始まる直前ぐらいに景観条例ができて、これはいろいろな人の意見を取り入れて変わっていく「進化する条例」だとうかがったんですね。それでそれを良い様に変えていこうというグループと、行政が個人の権利を侵害するなんてとんでもないというグループの2つができました。それが一期の中間で一つに合流して、以後は市民の目線で良い景観を考える、という方向性で進めてきました。

三期のプロジェクトでは、2つの柱があって、一つは地域によって取り組み方、望みが異なるので、まず専門家がいろいろ勉強していろいろ「景観エリアマネジメント講座」。もう一つが市民と一緒に考える「景観まちづくりワークショップ」です。

100人委員会の委員だけではなくて、(財)京都市景観・まちづくりセンター(まちセン)の人たちや二期でやめてしまった元委員の人たちなんかも参加してくれているんですよ。



内藤さん

(冨): 私はプロジェクトには参加していません。本当は私も子育て世代ですので、いろいろと興味のあるプロジェクトもあったのですが、どういう展開になるかわからないですし、自分の本来の活動が滞っては困るので(※インタビューもその気持ちよくわかります...)、様子を見ることにしました。部会は自分が少しはものをしゃべれる部会の方が良いかと思って(笑)環境・景観になりました。プロジェクトに参加していない分、自分の活動と100人委員会の活動をどうやったらつなげられるかを考えています。  
**今年度の残りの期間で、100人委員会でごんごんできたというのを教えてください。**

(冨): 残りの時間で町家に対する考え方を浸透させたいと思っています。私の活動も素人集団なんです。専門的な活動はすでに先輩方がたくさんやっていますからね。私は素人の「あったらいいな、残ったらいいな」という声を拾って行くようなつもりでやっています。そういう考えを皆さんにも広めたい、と。それから100人委員会の魅力は多様な人たちだと思っているので、ここで出会った人たちとの関係を今後も大事にしていきたいと思っています。

(内): 私は誤解を恐れずに言うと、10月には重きを置いていなくて、12月にしっかりと集大成をすべきだと思っています。成果報告会のような形ですね。将来的には景観活動をNPO化する、景観エリアマネジャーも資格化したいと思っていますので、その準備活動を続けていきます。その意味ではちょっと脱線しちゃうんですけど、来期以降の活動について、そろそろ全体で話をすべきじゃないかと思っています。少なくとも京都市には場所だけは押えておいて欲しいと思っています。  
**お二人とも謙虚で、それでいて熱く活動についてお話いただきました。お忙しい中お時間を作っていただきありがとうございます。**



冨家さん

## 部会長のコラム

**委員のみなさん最後までご協力をお願いいたします**  
 いま最も忙しい部会長のようです。10月全体行動の企画編成と実施準備、それに(個人ポートフォリオとチーム振り返りシート)の作成、そして必要なそれにもとづく市民活動における類型化による)100人委員会のモデル化と、どれも一筋縄ではいきません。幸い他の部会と同様、優秀な部会委員さんに恵まれていて、なんとか(部会長としての)役割を果たしていますが、委員の皆さん全員の理解と協力なくしては成果がでないものばかりです。皆さんよろしくお祈りしますよ!

委員会では若い人々と話ができる機会も多いのですが、グローバル化の急速な流れで彼らの努力がなかなか報われない厳しい競争社会になって、貧しいながらも明日に希望や夢があった私たちの若い世代とどちらがよいのか、つい考え込んでしまいます。

会議やデスクワークと毎日かなりの時間を委員会関係に割いています。幸い米屋という自営業で、子供たちも独立して妻と気楽な二人暮らしなのでなんとかやっています。

10年前から中京西部の街づくりや審議会活動と「市民活動」を続けていますが、「そろそろ」かなと考えるこの頃です。(寄稿、モデル形成部会長 木村壽夫さん)



## 来月の関連イベント

9月10日「親月祭」	
●日時 9月10日(土) 17:30~21:00	●内容 山紫水明の京都と一緒に堪能しませんか? 東山のお寺で夕焼けを眺めながら三弦等の調べを聴きます。名水山の井のお茶、いづ重のお弁当、月桂冠の大吟醸酒、そしてほほ満月! 三年越しの企画、親月祭、ついに実現です。
●会場 霊山 正法寺 京都市東山区清閑寺霊山町35	
●お申込み 山紫水明の京都プロジェクト 090-7876-4268	

## 第六回委員アンケート結果

100人委員会に参加している学生のみなさん(委員、スタッフ)の目的の1つは、職業につく前に、社会や仕事のことを知ることだと思えます。でも、学生のみならず、おじさん・おばさんたちから、色んなことを聞き出しているのかな。おじさん・おばさんたち、学生のみならずがどんなことを考えているのか、アンケートで聞きました。学生の皆さん! 懇親会に来ればいくらでも話は聞けますよ。懇親会に参加しましょう!(宇野)

社会人の部	仕事・活動	仕事・活動を始めた理由・きっかけ	若者へのメッセージ
浅田雅人	目指していること: 今出川周辺エリアを世界で一番 share がされている場所にすること	仕事・活動を始めた理由・きっかけ 人、物、空間、情報などの資源が、share を通してどこまで活用されるかに可能性を感じたから	歳は、とるほど楽しいですよ
池口誠一	MKタクシー営業 醍醐コミュニティバス立ち上げ 修学旅行タクシー研修発足 世界から京都へ来る有名要人の輸送、VIPの車列、国際会議への要人輸送を担当	市内観光案内に興味	
乾 明紀	大学の研究員、研究テーマは「積極的学習者になるための環境づくり」	大学職員として学生の活動を支援し、大学教員として学生を指導する中で、学生が積極的になる「環境づくり」のこだわりが高くなったため。	誰でも成長できる環境があります。その環境を是非みつめて下さい。
宇野 通	化学工場の技術者(何でも係とも)を16年やったあと、独立して、技術コンサルタントのようなこと(ISO9001審査員、会社の改善活動のお手伝いなど)をしています	今は、やりたい事と仕事とが一致した理想的な状態ですが、始めたのは「なりゆき」です。会社で偶然に押し付けられた業務が、そのまま生業になりました。先のことなどわかりません。目の前のことを一所懸命やっていると、予想外のチャンスが巡ってきます	せつかつ100人委員会に開けたのに傍観者で終わっていませんか? 仕事の現場で求められているのは、知らない世界でも、その中に飛び込んでやる力です。傍観者や評論家では、経験にはなりません。残りの半年を大切に!
竹内香織	特定非営利活動法人 京都子どもセンター	「ここでしか話せへん大事なこと」って思ったことを、今日ここで話せたんやから、明日からは他でも話していこうや...と言われたので	① 社会へは、まず出てみる ② アイタタ...と思ったら、ひっこめるところを持っておくこと ③ でも、また、いつか出てみる
丹羽 妙	美しく、豊かに、価値ある時間づくり // ファシリテーションを京都文化の土台に	100人委員会の場作りに触れた。 美術館に通いつづけた。	間いつづける事をしよう どういつ自分であつたかについて
橋本 皓平	京都府の職員	先輩職員を見て、カッコイイと思った。いろんな仕事ができるとイイと思った	社会人は中々たいへんやですけど、こんな私でも社会に出れたので、大丈夫です
早崎道人	建築設計 建築構造設計	楽しそうだから(建築設計) デザインとともに、建築物の品質を確保することの重要性を感じたから(建築構造設計)	自分のやりたいことをやるために、「楽しいこと」だけでなく「楽しくないこと」も、がんばってやって下さい。
村木博隆	京都市役所の区役所、広報課、経済企画課、京都府への出向、プロジェクト推進室、教育委員会、消防局防災危機管理室	自営業(中古車販売)だったが、父が急死したため市役所の試験を受けました。	自分の好きな仕事に就くことは、中々大変で難しいものです。どんな仕事をしたいにしても、誰かの役に立っていることを忘れずに、全力を注ぎましょう。
森 一代	経務事務(物品購入、旅費精算) 研究活動(東南アジア・オーストラリアでの参加観察) 写真撮影(けいはんな記念公園七夕展出展 etc) 日本語教師(在東京オーストラリア大使館、ビエンチャンユースセンター etc)	大学で学んだことが、そのまま今につながっています。特に具体的に何かを考えていた訳ではなく、なりゆき的に今に至っています。	・みなさんの100人委員会への参加のきっかけが知りたいです。 ・普段のお仕事とこの100人委員会の活動はなかなか大変なことだと思うのですが、その辺りはどうにしているのでしょうか?
匿名	秘書、ホテルウーマン(マンション、企画)プライドルコーディネータ、パソコン教師 ガールスカウト、各種ボランティア(車椅子駅伝、祇園祭 etc)	ながれ	

学生の部	目指している仕事・活動	仕事・活動をめざす理由・きっかけ	おじさん・おばさんへの質問・意見
尾形浩一郎	「誰でも、好きなときに、好きなところに、好きな人と出かけられる社会づくり」 下肢障害者、車いすユーザーのための手ごぎ自転車(ハンドサイクル)の普及と利用環境の整備	車いすユーザーの友人が「自転車に乗ってみたい」「サイクリングに行きたい」と言ったこと。	8月からようやく、いわゆる社会人としてやっていくことになりました。仕事と暮らしの関係はどんな感じですか? 普段、何を考えて生きてますか? どんな風に生きていきたいと思っていますか? 実際のギャップはありますか?
匿名	公務員になるために現在勉強しています。	大学のインターンシップで市役所訪問をしたことがきっかけで公務員という仕事に興味を持ちました。	・みなさんの100人委員会への参加のきっかけが知りたいです。 ・普段のお仕事とこの100人委員会の活動はなかなか大変なことだと思うのですが、その辺りはどうにしているのでしょうか?
匿名	ロジスティシャン	(理由)ニーズが高い人と話すのが好き (きっかけ)高校生の時に自分が一生かけてできることはなにかと考えて、医者じゃないならロジスティシャンだろうと	みなさんお仕事の合間をぬって市民活動に参加されていて、そのバイタリティはどこから来るのだろうかいつも感動しつつ、疑問に思っています。(自分はいつも四苦八苦しながら勉強やらなにやらやっているので...)

## 編集後記

今月は大きなイベントあり、勉強会ありと委員の皆さんのアクティビティが高かったのも、またもやぎざぎざに詰め込むことになりました。スペースの関係で割愛しましたが、今月も東日本大震災の募金を継続しています。みつばちカフェに募金箱を置いてありますので、皆様のお気持ちをお寄せください。  
 内藤さん、冨家さんには表裏両面でご登場願いました。イベントとそこに関わる人の思いを立体的に捉えていただけたのではと自画自賛です(^)。また感想などお寄せください。  
 さて、9月は関連イベントは小休止という感じですが、何かありましたらまたお声掛けください。連絡先は、vitalization2011@gmail.comです。最後になりましたが、今月号に寄稿してくださった藤崎さん、小辻さん、木村さん、写真をいただいた村木さん、事務局の山口さん、本当にありがとうございました。(早崎)

